



科目番号		科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号													
						凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目													
						1. 知識・理解			2. 表現			3. 思考			4. 態度・志向性			5. 実践	
		1-1		1-2		2-1		3-1		3-2		3-3		4-1		4-2		5-1	
基礎教育科目	看護を学ぶ基礎	22UNSB1106	看護応用統計学	1	保健医療分野で用いられる統計手法（基本統計分析から推測統計の初歩）の意味や手法についての基礎的知識を修得することを目的とする。	1. 記述統計の種類と意味について学び、それぞれの手法で示すデータの意味を説明することができる。 2. 分析の目的に合うデータ収集法や分析方法・統計手法を選択することができる。	○												
	人体の構造と機能	22UNSB1107	解剖生理学 I	1	人間の形態と機能、構造を系統的に学ぶとともに、形態と機能を関連付けて学習し、看護実践の方法や治療の必要性を理解するための基礎知識を修得することを目的としている。	1. 人間の形態と機能、構造について系統的に学び、その基礎的な特徴や働きを説明することができる。 2. 看護や医学的な処置を行う上での注意点を結びつけて、人間の形態や機能、構造を理解する必要性を考察することができる。	○	◎			○	○	○						
		22UNSB1108	解剖生理学 II	1	人間の形態と機能、構造を系統的に学ぶとともに、形態と機能を関連付けて学習し、看護実践の方法や治療の必要性を理解するための基礎知識を修得することを目的としている。	1. 人間の形態と機能、構造について系統的に学び、その基礎的な特徴や働きを説明することができる。 2. 看護や医学的な処置を行う上での注意点を結びつけて、人間の形態や機能、構造を理解する必要性を考察することができる。	○	◎			○	○	○						
		22UNSB1109	栄養代謝学	1	援助の対象となる人間の体内で起こっている合成と分解、代謝、排泄、免疫反応のメカニズム、遺伝情報（DNA、RNA）の概要が理解できるような基礎的知識を学ぶことを目的としている。	1. 生命活動にかかわるすべての分子の正常な代謝についての基礎知識を整理し、これらの代謝にかかわる基本的な用語を説明できる。 2. 正常な代謝や反応を学ぶことにより、異常時の状態を判断する情報の理解や人間の機能への影響の重要性を考察することができる。	○	◎			○	◎	○						
疾病の成り立ちと回復促進	22UNSB1110	臨床病態栄養学	1	臨床現場（病院、施設など）において、病いと闘っている援助の対象者の生活の質の向上のために、栄養的な側面から何ができるのかについて、自分の頭で考えられる力と情報を取り入れる能力の獲得を目指す。また、低栄養状態を引き起こす疾病に関して、解剖生理学、病態、栄養学の問題点、それに対する栄養ケアの意義や方法の特徴に関する基礎的知識の獲得を目的とする。	1. 臨床栄養学のキーワードに関する意義と課題を自分で説明できる。 2. 実際の対象者における意味や栄養サポートの導入部に関する基礎知識を記述できる。 3. 低栄養状態を引き起こす病態についての基礎的な用語を説明することができる。	○	◎			○	◎	○							



科目番号		科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号													
						凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目													
						1. 知識・理解			2. 表現			3. 思考			4. 態度・志向性			5. 実践	
1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	5-1											
基礎教育科目	健康支援と社会保障制度	22UNSB3116	チーム医療論	3	保健医療福祉分野におけるチームアプローチの必要性を理解し、各専門職者の役割や機能の特徴を知り、理解を深めるとともに、連携のあり方や看護職者の役割・責任に対する考え方を明確にすることを目的とする。	1. 保健医療福祉分野の各専門職者の役割や機能の特徴を説明できる。 2. チームアプローチの必要性を記述することができる。 3. チーム医療における看護職者の役割や責任を自分の言葉で説明できる。	○		○			○				◎			
		22UNSB3117	疫学	3	健康づくりを中心とした予防的な保健活動を行うにあたり、その根拠を科学的に評価することは不可欠である。人間集団における健康状態とそれに関連する要因の頻度と分布を明らかにする疫学の基礎を教授する。	疫学概念および疾病頻度の指標、疫学調査法を理解し、既存統計資料の利用方法について学ぶ。具体的な疫学研究と保健活動への活用の実際を知り、その必要性について理解する。	◎	○								○			
専門教育科目	基礎看護学分野	22UNSS1131	看護学概論	1	看護概念および生活者としての看護の対象に看護を提供するために必要な基本的概念「人間」「看護」「健康」「環境」について学び、また、看護の歴史や看護理論、看護制度、看護教育制度、看護倫理などに関する看護実践の基礎的知識を習得する。それを通して、看護の対象である人間について看護の視点から洞察を深めるとともに、看護師として必要とされる基本的態度や自己研鑽・看護観構築の必要性を理解する。	1. 看護を提供するために必要な基本的概念「人間」「看護」「健康」「環境」を理解し、看護とは何か、看護師とは何かについて、自分なりの考えをまとめることができる。 2. 看護の歴史や制度から現在の看護の位置づけを記述することができる。 3. 看護理論や看護倫理の必要性と看護実践とのつながりを説明できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		22UNSS2132	看護援助論	2	本科目では、看護援助の基本となる対人関係やコミュニケーションに関する理論と技術を学び、基本的なコミュニケーション技術を修得することを目的としている。また、看護援助を展開していくための思考プロセスとしての看護過程の展開に必要な基礎学習と事例展開を行って、看護過程を具体的に展開する基礎的な能力を育成する。	1. 看護過程の意義や構成要素について説明することができる。 2. 患者情報に基づいてデータベースを作成できる。 3. データベースの情報を解釈・統合し、看護問題を抽出できる。 4. 評価につながる達成可能な患者目標を設定し、それに到達するような計画を具体的に立てることができる。 5. 評価を行うときの注目点が見える。	○	◎	◎	○	◎	◎	○	○					
		22UNSS1133	基礎看護技術演習Ⅰ	1	本科目は看護行為に共通する技術について、看護実践における看護技術とは何かをふまえて講義と演習を統合させながら基本技術を修得する。各単元は、「看護における技術の概念」「看護技術に必要な安全・安楽・自立」「観察・記録・報告」「バイタルサインの測定」「環境の調整」「ボディメカニクス」「安楽な体位」「食事と栄養」「フィジカルアセスメント」などである。	1. 安全、安楽、自立を考慮し、効率的な共通基本技術の方法の根拠や留意点を説明することができる。 2. 基礎的な共通基本技術を安全、安楽、自立や効率性を考慮して実施することができる。 3. 基礎的な共通基本技術を実施した後、自分の援助技術を評価し、改善策を見出すことができる。	○	◎	◎	○	◎	○	○	○	○				

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号											
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目											
					1. 知識・理解			2. 表現			3. 思考			4. 態度・志向性		5. 実践
					1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	5-1			
22UNSS1134	基礎看護技術演習Ⅱ	1	<p>本科目は基礎看護技術演習Ⅰを基盤として、患者の生活や機能面からみた日常生活行動に焦点をあてた援助技術の習得を目指している。特に、人間の生活や健康にとつての日常生活行動の意味を理解しながら、対象の健康レベルや発達段階に応じた日常生活援助の必要性が判断でき、対象に応じた日常生活援助が実施できるよう技術の原理原則と応用面への基礎的学習を行う。単元は、「体位変換」「移動移送」「リネンチェンジ」「排泄」「衣生活」「身体の清潔」などである。</p>	<p>1. 安全、安楽、自立を考慮し、効率的な日常生活援助技術の方法の根拠や留意点を説明することができる。 2. 基礎的な日常生活援助技術を安全、安楽、自立や効率性を考慮して実施することができる。 3. 基礎的な日常生活援助技術を実施した後、自分の援助技術を評価し、改善策を見出すことができる。</p>	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○				
			<p>本科目は基礎看護技術演習Ⅰ、Ⅱの知識と技術を基盤に、療養生活の中での診断と治療場面における患者の安全・安楽を確保する援助技術を学習する。単元は「感染予防」「排泄を促す技術」「呼吸を整える技術：吸入・吸引」「検査と看護：採血」「与薬と看護：内服・注射」などである。療養生活の中での診断と治療にかかわる看護師の役割を踏まえ、患者の診断と治療が安全で確実に実施されるような基本的技術の習得を目指す。</p>	<p>1. 安全、安楽、自立および療養生活を考慮し、確実な治療処置技術の方法の根拠や留意点を説明することができる。 2. 基礎的な治療処置技術を安全、安楽、自立や効率性を考慮して実施することができる。 3. 基礎的な治療処置技術を実施した後、自分の援助技術を評価し、改善策を見出すことができる。</p>	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○				
			<p>身体的側面から対象者の健康上の問題を査定・評価するフィジカルアセスメントの知識と技術を習得し、心理的側面・社会的側面を含めたヘルスアセスメントの方法を学習する。 また、ヘルスアセスメントに基づいて日常生活における援助のニーズを判断し、計画、実施、評価する過程を具体的な事例を通して理解することを目的とする。</p>	<p>1. 対象の身体の状態を診査する基本的手技を習得することができる。 2. 身体診査や問診結果から対象に何が起きているかをアセスメントすることができる。 3. 日常生活における援助のニーズを判断し、計画、実施、評価する一連の過程を事例で展開をすることを通して理解することができる。</p>	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○				
			<p>看護の対象となる人を中心にして、その人が生活する療養生活、療養環境、および療養している人の身体心理社会的な様子を知ることが目的としている。また、看護師の実際の看護活動を見学し、看護援助の実際や療養生活を支える看護師の役割についての理解を深めることを目的としている。加えて、実際に対象との対話の機会を持つことで、看護援助の基本となるコミュニケーション能力や観察能力の重要性と自己の課題を明確にして、学習動機に結びつける。</p>	<p>1. 看護の対象者の療養生活を支える施設の総合的な機能や他職種の役割を説明することができる。 2. 対象者の療養生活およびその人の身体心理社会的な様子を自分の言葉で説明できる。 3. 看護援助の場面を見学することにより、療養生活をサポートする看護師の役割を考察することができる。 4. 対象を理解しようとする姿勢でコミュニケーションをとることができる。 5. 自己の学習課題を明確にすることができる。</p>	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			

専門教育科目  
基礎看護学分野



科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号														
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解			2. 表現			3. 思考			4. 態度・志向性			5. 実践		
					1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	5-1						
22UNSS1144	成人看護学概論	1	成人看護学各論への導入として「成人」「成人をとりまく健康課題」「成人看護展開のための理論および概念」「健康状態に応じた看護」を理解し、成人看護実践の基盤にできることを目的とする。	1. 成人期にある人々の心身の機能と発達課題、家族や社会における役割を説明できる。 2. 成人期における健康問題や課題を説明できる。 3. 成人看護に有用な理論および概念を理解できる。 4. 成人期にある人々を支援する看護活動および看護師の役割について説明できる。	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○					
	成人看護学ⅠA	2	成人看護学概論で既習した知識を積み上げ、慢性期と急性期の病態・病期・健康障害に応じた必要な看護援助とその根拠を理解する。	1. 疾患、病態、治療に関連した身体・心理・社会的側面への影響を理解できる。 2. 疾患や病態の慢性・急性期の症状・特徴や改善・悪化状況の指標となる検査データ、徴候を理解できる。 3. 疾患、病態時期に必要な治療とその看護援助について理解できる。 4. 慢性期・急性期にある患者の合併症予防の援助や退院後の日常生活を支援する方法を理解できる。 5. クリティカルな状況にある患者への看護について理解できる。	○	◎	○	◎	◎	◎	○	○	○						
	成人看護学ⅠB	2	成人看護学概論で既習した知識を積み上げ、慢性期と急性期の病態・病期・障害を抱えて生活する対象者に応じた必要な援助とその根拠を理解する。	1. 疾患、病態、治療に関連した身体機能への影響を理解できる。 2. 疾患や病態の慢性期・急性期の症状・特徴や改善・悪化状況の指標となる検査データ、徴候を理解できる。 3. 疾患、病態時期に必要な治療とその看護について理解できる。 4. 慢性期・急性期にある患者の合併症予防の援助や退院後の日常生活を支援する方法を理解できる。 5. 周手術期、クリティカルな状態にある患者・家族への看護について理解できる。	○	◎	○	◎	◎	◎	○	○	○						
	成人看護学Ⅱ（慢性期）	3	慢性的な疾病や障害を有する対象者を看護するにあたり必要な基礎的知識と技術を正確に理解し、演習を通して対象者の療養生活を実際にイメージしながら、個々の対象者に必要な援助について考える力を養うことを目的とする。	1. 慢性的な疾病や障害によって必要となる療養法について学び、それが生活に及ぼす影響について、対象者の立場で考察できる。 2. 慢性的な疾病や障害を有する対象者の療養生活を支援するために必要となる一般的な知識と技術について学び、その上で個々の対象者に応じた看護援助について考察できる。 3. 慢性的な疾病や障害を有する対象者の看護過程について学び、情報の収集・整理からアセスメント、看護上の問題の抽出、看護計画の立案まで、自分で展開できる。	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○						
22UNSS3148	成人看護学Ⅱ（急性期）	3	急性期にある対象者の医療に必要とされる知識や考え方、看護技術を演習を通して習得し、臨床実習または実際の医療現場をイメージできることを主な目的とする。	1. 一次救命処置のアルゴリズムにおける各技術について正しく理解し、安全かつ確実な一次救命処置を実施することができる。 2. ストーマケア技術を実施できる。 3. 創傷の治癒過程をふまえて観察方法を理解し、実践できる。 4. 術前に必要な呼吸訓練の目的・意義・方法とその根拠について正しく理解し、実施できる。 5. 術後の観察方法を知り、患者の状態をアセスメントできる。 6. 気管内吸引の適応を理解し、開放式気管内吸引を正しく実施できる。 7. 情報の整理・アセスメント・問題の抽出・計画立案の一連のプロセスを展開できる。	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○						

専門教育科目  
成人看護学分野

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号											
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目											
					1. 知識・理解			2. 表現			3. 思考			4. 態度・志向性		5. 実践
					1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	5-1			
成人看護学分野 専門教育科目	22UNSS2149	サポータティブケア	2	がん化学療法や放射線療法による有害事象を緩和する援助、ADL低下に対する援助、苦痛症状の緩和、セルフケア促進のための援助について理解できる。	1. がん化学療法や放射線療法による有害事象やそれらを緩和する援助を理解できる。 2. 痛みの評価方法や徐痛方法を理解できる。 3. がん患者の心のケアの必要性を理解できる。	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○		
	22UNSS3150	成人看護学実習（慢性期）	3後 4前	この科目は、これまでの授業を通して習得した知識と技術をもとにして、慢性的な疾病や障害を有する対象者への看護のあり方を理解しながら、看護過程の能力を養い、個々の対象者に必要な援助方法を学ぶことを目的としている。	1. 対象者の病態および治療による身体状況を理解できる。 2. 対象者との円滑なコミュニケーションを通じて信頼関係を築くとともに、対象者の置かれた心理的社会的背景を理解できる。 3. 対象者の生活を尊重した援助を考えることができる。 4. 対象者のセルフケアやセルフマネジメントを支援するためのかわり方を考えることができる。 5. 対象者の療養生活を継続するために必要な社会資源の活用や継続看護、多職種との連携について考えることができる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	22UNSS3151	成人看護学実習（急性期）	3後 4前	手術療法など侵襲的治療を必要とする対象者への看護において、急性期における看護の役割と援助の実際を学ぶと共に、対象者が疾患や治療により生じた心身の変化に適応し、その人らしい生活の再構築に主体的に取り組むことへの支援について学ぶことを目的としている。	1. 成人期にある対象者の発達課題、生活背景や社会的役割等を理解し、病態および治療の必要性とその影響を理解できる。 2. 対象者とその家族の、疾患と治療に対する認識、心理社会的状況について理解できる。 3. 対象者に行われる治療（術式や麻酔方法など）を理解し、侵襲による生体反応と起こりうる合併症（術後合併症など）を理解できる。 4. 対象者に行われる検査や処置の目的とその結果を把握し、必要とされる援助を理解できる。 5. 疾患や治療により対象者の心身に生じた変化をふまえ、社会生活への復帰に向けた支援を考え実践できる。 6. 周手術期または、疾病の急性増悪や突然発症の状況にある対象者の看護上の問題を明確にし、看護目標を設定し、看護計画を立案・実施・評価することができる。 7. 医療チームのメンバーとしての自己の責任を自覚し、連携や協働できる。 8. 自身の看護を振り返り、課題を明らかにし、改善に向け取り組むことができる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
老年看護学分野	22UNSS2152	老年看護学概論	2	この科目では、身体的、精神的、社会的側面から高齢者の健康課題を理解し、看護の役割について考える力を養うことを目的とする。	1. 加齢に伴う身体的、精神的、社会的な変化を、理論やモデルを通して理解できる。 2. 高齢者の健康課題について説明できる。 3. 高齢者を支える保健・医療・福祉システムについて理解できる。 4. 高齢者看護の役割について、自分の言葉で説明できる。	○	◎	○	○	○	○	○	○	○		
	22UNSS2153	老年看護学 I	2	この科目では、高齢者の加齢に伴う身体的・精神的・社会的な機能変化によって生じる日常生活への影響の理解を基盤とし、高齢者に特徴的な症状や疾患を持つ方への看護を実践するための基礎力を養うことを目的とする。	1. 加齢に伴う身体的、精神的、社会的な機能変化を、高齢者体験を通して理解できる。 2. 高齢者の身体の加齢変化が日常生活に及ぼす影響について説明できる。 3. 高齢者の身体の加齢変化と日常生活のアセスメントの視点について理解できる。 4. 健康障害を持つ高齢者のアセスメントの視点を理解できる。 5. 高齢者の生活を支える看護の具体的な方法について、自分の言葉で説明できる。	○	◎	○	◎	◎	◎	○	○	○		



科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号											
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目											
					1. 知識・理解			2. 表現			3. 思考			4. 態度・志向性		5. 実践
					1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	5-1			
専門教育科目	22UNSS3154	老年看護学Ⅱ	3	この科目では、これまでの老年看護学に関する既習の知識を統合しながら事例高齢者の看護過程を展開し、高齢者の個別性に合わせた看護を考える力を養うことを目的としている。	1. 医療依存度が低い高齢者の生活支援の視点について理解できる。 2. 医療依存度が低い高齢者のアセスメントと看護の視点について理解できる。 3. 治療が高齢者に及ぼす影響について理解できる。 4. 治療を必要とする高齢者のアセスメントと看護の視点について理解できる。 5. 医療依存度が低い事例高齢者の看護過程の展開ができる。 6. 治療を必要とする事例高齢者の看護過程の展開ができる。	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○		
	22UNSS2155	アクティブエイジング	2	この科目では、高齢者が疾患や障害を持ちながらも活動的な生活を送ることを支援するための看護について考える力を養うことを目的とする。	1. 高齢者の健康の維持・増進のための看護について考えることができる。 2. 高齢者の活動的な生活を支援するための具体的な方法について説明ができる。	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○		
	22UNSS3156	老年看護学実習	3後 4前	この科目は、老年期にある様々な健康段階の人を身体的、心理的、社会的側面から統合的に理解し、その人を取り巻く家族や生活環境、社会資源について理解を深め、健康生活課題の解決を支援する基礎的能力を養い、看護過程の展開を通して、個々の対象者に必要な援助方法を学ぶことを目的としている。	1. ケアマネジメントの第一線機関である地域包括支援センターや居宅介護支援事業所の概要を理解し、実施されているマネジメント業務の実際について学ぶ。 2. 地域で生活する老年期にある様々な健康段階の人のニーズおよび相談内容を知り、健康生活課題の解決を支援する方法について考える力を養う。 3. 地域包括支援センターや居宅介護支援事業所における看護職の役割について理解できる。 4. 介護老人福祉施設、介護老人保健施設、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、認知症対応型共同生活介護等、様々な社会資源について理解できる。 5. 介護老人保健施設を利用する高齢者の健康課題について理解できる。 6. 介護老人保健施設における看護の役割について、考えを述べることができる。 7. 介護老人保健施設における多職種連携について説明できる。 8. 介護老人福祉施設に入所している高齢者の受け持ちを通して、看護過程の展開ができる。 9. 介護老人福祉施設におけるチームアプローチと多職種連携について、説明することができる。 10. 介護老人福祉施設における看護の役割について、考えを述べることができる。 11. 自己の高齢者観と看護観を説明できる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	22UNSS1157	小児看護学概論	1	この科目は、対象となる小児の成長発達と家族の役割を理解したうえで、小児看護に関する変遷を踏まえたうえで、小児看護の機能と役割、社会の子どもに対する対応について学ぶことを目的としている。	1. 小児看護に関する発展の変遷および機能や役割についての考え方を理解できる。 2. 子どもの成長発達について、主な発達理論や発達過程の特徴および発達段階に応じた対応を理解できる。 3. 子どもの発達に伴う家族の変化や役割を理解できる。 4. 子どもにかかわる法律や保健政策の現状を知り、社会の中で育つ子どもに必要な支援を理解できる。 5. 学んだ子どもの発達過程の知識を活用して、自分の発達過程を分析できる。	○	◎	○	○	○	○	○	○	○		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号											
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目											
					1. 知識・理解			2. 表現			3. 思考			4. 態度・志向性		5. 実践
					1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	5-1			
22UNSS2158	小児看護学Ⅰ	2	この科目は、子どもに特徴的な疾患および健康障害について理解し、その疾患および健康障害がある子どもと家族に看護を実施するための基礎知識を獲得することを目的としている。	1. 子どもの安全と事故防止について理解し、説明ができるようになる。 2. 子どもの病気の影響や入院生活について理解し、説明ができるようになる。 3. プレパレーションについて理解し、説明ができるようになる。 4. 小児看護専門看護師の役割について理解し、説明ができるようになる。 5. 子どもに特徴的な疾患および健康障害について理解し、その看護援助の方法について説明ができるようになる。 6. 白血病と闘病する子どもと家族の事例について、情報をもとにアセスメントし、看護援助の方向性が説明できるようになる。 7. 小児の外来および救急における看護について理解し、その特徴について説明ができるようになる。	○	◎	○	◎	◎	◎	○	○	○			
			この科目は、子どもへの日常生活援助の技術およびフィジカルアセスメントの技術を学び、入院する子どもの看護過程の展開に必要な能力を習得することを目的としている。	1. フィジカルアセスメントの方法について理解し、モデルを対象に実施できるようになる。 2. 子どもの日常生活援助について、説明ができるようになる。 3. 離乳食の演習を通して、離乳食の発達ごとの特徴について説明ができるようになる。 4. 子どもの遊びや絵本の読み聞かせについて理解し、実施できるようになる。 5. 健康障害を抱える子どもと家族の事例について、情報をもとにアセスメントし、看護問題の明確化ができるようになる。 6. 健康障害を抱える子どもと家族の事例について、看護計画の立案ができるようになる。 7. グループワークで、積極的な態度を示すことができる。 8. グループワークで、自身の意見およびグループの意見を述べるができる。	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○			
			この科目は、子どもが育つ過程で生じる子どもと家族に生じる問題に関して、子どもと家族の生活の変化や家族関係を考慮した対応をグループ討議やワークで具体的に検討できることを目的としている。	1. 子どもの育つ過程で生じる具体的な問題から、子どもの発達への影響や支援を考えることができる。 2. グループワークや発表を行うことを通じて、メンバー相互の協力や協調を学ぶことができる。 3. 育児期の家族に生じやすい具体的な問題から、家族の発達と支援のあり方を考えることができる。	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○			
			この科目では、保育園・幼稚園において健康な子どもの成長発達と発達に応じた援助の実際を学び、さらに病院に通院あるいは入院している子どもと家族に対する看護の実際を学ぶことを目的としている。	1. 乳幼児期の子どもの成長発達を評価し、発達に応じた子どもへの援助が実践できるようになる。 2. 保育士あるいは幼稚園教諭の行う子どもの発達に応じたより適切な対応について理解し、説明ができるようになる。 3. 通院中あるいは入院中の子どもの病状・治療と成長発達に応じた適切なニーズを理解した上で、子どもと家族のニーズに応じたケアの計画、実施、評価ができるようになる。 4. 子どもと家族にとって必要な社会資源を理解するとともに、保健医療メンバーとしての役割と連携について理解し、説明ができるようになる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
22UNSS2159	小児看護学Ⅱ	2														
22UNSS3160	チャイルドデイベロップメンタルアプローチ	3														
22UNSS3161	小児看護学実習	3後 4前														

専門教育科目  
小児看護学分野

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号											
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目											
					1. 知識・理解			2. 表現			3. 思考			4. 態度・志向性		5. 実践
					1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	5-1			
22UNSS2162	母性看護学概論	2	この科目は母性看護の対象となる親・子ども（胎児を含む）・家族を理解するために必要な概念、理論について教授するとともに、対象を取り巻く社会的な変化や法律を踏まえた対象の健康課題やニーズを理解し、母性看護の基本を学ぶことを目的とする。	1. 母性看護の対象理解に必要な概念、理論について説明できる。 2. 母子保健の統計指標について説明でき、母子保健の動向を把握できる。 3. 母性看護における看護援助の基本的な考え方を説明できる。	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○		
	母性看護学Ⅰ	2	この科目は妊娠、出産を経て新しい家族を構築していく周産期の女性、新生児とその家族の健康状態をアセスメントするために必要な知識の習得を目的としている。	1. 妊娠・分娩・産褥期の女性が経験する身体的な変化および心理・社会的変化を説明できる。 2. 胎児・新生児の発達・適応過程を説明できる。 3. 周産期に生じやすい異常・健康障害を説明できる。	○	◎	○	◎	◎	◎	○	○	○	○		
	母性看護学Ⅱ	3	この科目は、周産期（妊娠・分娩・産褥期）の女性、新生児とその家族に対する看護を実践するために、母性看護学概論、母性看護学Ⅰ、その他の関連科目で習得した知識・技術を統合し、看護計画を立案する能力を養うことを目的としている。	1. 対象（周産期の女性、新生児および家族）の健康状態をアセスメントするために必要な知識、技術を述べるができる。 2. 対象の健康状態を適切にアセスメントできる。 3. アセスメントに基づき、対象の健康増進のために必要な看護ケアを計画することができる。 4. グループワーク（GW）ではメンバーと協力して取り組み、課題を完成することができる。	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○		
	ウィメンズヘルスケア	2	この科目は女性のライフサイクルにおける健康課題・問題を理解し、女性とその家族の健康を維持、増進するための看護について学ぶことを目的としている。	1. 女性の生涯における身体的変化と心理・社会的発達について理解できる。 2. ライフサイクルにおける女性の健康課題・問題を概観し、その特徴を説明できる。 3. 女性の健康課題・問題に応じた看護援助について具体的に考えることができる。	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○		
	母性看護学実習	3後 4前	この科目は、これまでに学んできた知識と技術を統合し、周産期の女性、新生児、その家族への臨床看護に活用して援助を実践するための基礎的能力を養うことを目的としている。さらに、保健医療チームの一員として他のメンバーと協働する能力を養う。	1. 周産期にある女性・新生児とその家族の健康状態を多面的・統合的にアセスメントできる。 2. アセスメントに基づき、対象の健康増進に必要な看護ケアを計画できる。 3. 看護ケアを実践し、設定した目標に照らして結果を評価することができる。 4. 必要に応じて看護計画を修正することができる。 5. 自分の行った看護をまとめ、学んだことをグループメンバーと共有することができる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
22UNSS2167	精神看護学概論	2	精神看護の対象および精神の健康問題の概観について理解し、今後精神看護学を学んでいく上での自身の課題を見出すことができる。	1. 精神医療保健福祉の現状および歴史をふまえ、精神看護の対象についての概観を理解する。 2. 現代社会における精神の健康の多様性と精神疾患や障がいに対する偏見について考え、精神の健康とは何か、多面的多角的に理解を深める。 3. 人々が自ら精神の健康を維持・増進できるよう看護について考え、今後精神看護学を学んでいく上での自身の課題を見いだすことができる。	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○		

専門教育科目

母性看護学分野

精神看護学分野

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号																
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目																
					1. 知識・理解			2. 表現			3. 思考			4. 態度・志向性			5. 実践				
1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	5-1													
22UNSS2168	精神看護学 I	2	精神疾患/障害や治療についての基礎的知識・理論について学び、疾患/障害をもつ人への基本的な看護アプローチについて学ぶ。また、地域包括ケアのあり方や、援助者自身の健康の保持について考えることができる。	1. 精神の疾患/障害のとらえ方について理解する。 2. 主な精神疾患/障害の成り立ちや特徴、主な治療について説明できる。 3. 精神疾患や障害に関連する検査・診断・症状を、その人の生活の視点からみて、その人にとってはどのような体験かを考え、看護の方向性を多面的に検討することができる。 4. 精神疾患や障害をもつ人の回復や地域生活を支援する上での地域包括ケアについて学び、多職種連携について考えることができる。 5. 援助者のメンタルヘルスについて学び、援助者の健康の保持について考えることができる。	○	◎	○	◎	◎	◎	○	○	○								
			精神疾患/障害をもつ人への看護アセスメントの考え方について学び、精神看護を実践するための具体的な知識や技法について学ぶ。また、精神科における倫理的課題に取り組む姿勢を身につける。	1. 精神看護を実践する上で、対象者を多面的に理解する必要性や技法について理解を深める。 2. 精神看護を実践する上でのアセスメントの視点、考え方を理解できる。 3. 対象者のストレスやその人らしさを大切にすることの重要性や意味についての理解を深め、対象者を主体とした看護アプローチについて考えることができる。 4. 精神科における入院形態や行動制限の現状について学び、必要性や問題・対策について考えることができる。 5. 精神科における倫理的問題や課題を考えることができ、倫理的課題への取り組みの姿勢について学生自らが気づくことができる。 6. 精神看護を実践する上で、プロセスレコードの活用技法や意味について理解できる。 7. 精神疾患/障害をもつ人への理解を深め、地域で生活していくための資源活用や連携をふまえた看護アプローチの方法について考えることができる。	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○								
			グループについての基盤となる理論について学び、様々なグループを体験し、体験を通して、人々の関係性やつながりがもたらす治療的な力について考える。また、これまでのグループ体験や本授業でのグループ体験を通して洞察を深め、看護におけるグループアプローチに活かすための自身の課題を見出す。	1. グループアプローチの基盤となる理論について学び、家族や地域の人々、学生同士のグループ、学内の人間関係といった日常のグループのあり方について考えることができる。 2. グループの中で、他者に自身の思いや考えを伝え（語り）、また他者の話を聴く（理解しようとする）と関心をもって聴く）体験を通して、語る・聴く意味について考えることができる。 3. 人と人との関係で生じる、共感やサポート、成長など、これまでの自身のグループ体験を通して考えることができる。 4. 看護におけるグループやチームのあり方について考え、グループでの自身の課題に気づくことができる。	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○								

専門教育科目  
精神看護学分野

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号											
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目											
					1. 知識・理解			2. 表現			3. 思考			4. 態度・志向性		5. 実践
					1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	5-1			
専門教育科目	精神看護学分野	22UNSS3171	精神看護学実習	3後 4前	医療施設や地域での精神障害をもつ人とのかかわりを通して、精神障害をもつ人がかかえている困難や強みについて、その人の生活上の文脈から理解する能力を養う。そして、実習での自身の体験と関連づけて、精神障害をもつ人の健康回復や地域生活を送る上での看護や支援、また看護や支援を実践するための能力について考察することができ、精神看護を実践する上での自身の課題を見出すことができる。	1. 精神障害をもつ対象者のかかえている困難や強みを、その人の生活上の文脈、健康障害や治療についての医学的理解、その人をとりまく社会環境と関連付けて、理解しようとする事ができる。 2. 対象者の健康回復や退院後の生活について、対象者とともにイメージを描こうとすることができ、精神障害をもつ人の健康回復や地域生活を送る上での看護や支援のあり方について考えることができる。 3. 対象者との関わりをプロセスレコードで、援助的な関係のあり方について振り返り、振り返りを実践に生かすことができる。 4. 自分に生じた感情や考えを、対話や記録を通して他者に伝えることができる。そして、他者の話を聴くことによって、自己および他者理解を深めることができる。 5. 精神障害をもつ人々の地域生活や障害福祉サービスの実際、地域包括ケアシステムについての理解を深めるとともに、回復や生活支援にかかわる人々の連携について考え、看護の役割や課題について自身の考えを述べる事ができる。 6. 社会や自らの精神障害者や精神医療についての偏った見方に気づくことができる。 7. 精神看護において、自らがケアの道具であることについて、実習での体験と照らし合わせて、自らの考えを述べる事ができる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	統合看護学分野	22UNSS4172	統合看護学実習	4	この科目では、各看護学分野で学んだ知識、これまで統合した学習内容や技術の習得を通して、組織の管理的な機能を把握した上でのチームの一員としての実践的な能力や対象者の生活の質の維持向上を目指したかかわりへの意識を育み、自己の人間の成長と看護師としての展望を明確にすることを目的とする。	1. 実務的な看護実践を通して、時間的管理を考慮したケアの提供を看護師とともに行うことができる。 2. チーム医療および他職種との協働の中で、看護師としてのメンバーシップおよびリーダーシップの実際を知ることができる。 3. 組織における看護管理の機能と役割の実際を知ることができる。 4. 対象者の疾病予防や生活の質を確保するための施設と地域との連携や生活の質に影響する口腔ケアに関する専門的な支援のあり方に対して、自分の考えをまとめることができる。 5. 多様な場面や状況において、人々の健康上の課題に対応する看護師の役割と活動の実際を述べる事ができる。 6. 本実習を通して自身の看護師としての将来像や看護観を述べる事ができる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		22UNSS4173	看護マネジメント	4	看護マネジメントは良質で、安全な医療を効率的に提供するために必要不可欠な過程である。本講義では、組織管理、看護ケアの質管理、安全管理、キャリア開発といった看護マネジメントの基礎的知識を習得する。	組織における看護体制、ケアにおけるマネジメント、チーム内でのメンバーシップやリーダーシップ、看護ケアサービスの質管理といった安全で良質な医療を提供するために必要な看護マネジメントの基本について理解を深める。		◎	○					◎	◎	○
		22UNSS2174	家族看護学	2	この科目では、家族とは何か、家族に対するアセスメント、家族支援に関する理解を深め、それらの学びを活用して実習で受け持った事例の家族に関する分析を行うことを目的とする。	1. 家族に関連する種々の理論の概要を理解できる。 2. 家族を援助するためのアセスメントの視点を理解できる。 3. 家族に対する援助を考えるための視点を理解できる。 4. 実習での事例を通じて、家族への援助を検討する。		◎	○	◎	◎	◎	○	○		◎

